

2025 年 9 月 28 日		(朝 10:30-11:30)
聖 日 礼 拝		司会 城尾マコト
前 奏	全員黙祷 「新聖歌 23 番」	ヒムプレーヤー
招 詞	マタイ 15 章 4～6 節(新 24 頁)	司会者
頌 栄	「新聖歌 60 番」	ヒムプレーヤー
主の祈り		全 員
使徒信条		全 員
交読文	新改訳 32 番 詩篇 103 篇 905 頁	司会者・全 員
聖 書	出エジプト 20 章 12 節(旧 102 頁)	司会者
讃美歌	新聖歌 275 信仰こそ	ヒムプレーヤー
祈 祷	司会者による祈り	
	子供達の祝福の為の賛美 484 番	ヒムプレーヤー
讃美歌	新聖歌 438 悩む世人のために	ヒムプレーヤー
メッセージ	「神様と円満の秘訣」	城尾淳一
讃美歌	新聖歌 505 主われを愛す	ヒムプレーヤー
	証とお知らせの時間	
献 金	新聖歌 55 番	
頌 栄	新聖歌 63 番	
祝 祷		城尾マコト牧師
後 奏	全員黙祷 新聖歌 59 番	
  		
Youtube Facebook HomePage		

出エジプト記 20 章「神様と円満の秘訣」

神様と円満の秘訣：「あなたの父と母を敬え。これは、あなたの神、主が賜る地で、あなたが長く生きるためである。」(出エジプト記 20:12) この戒めは十戒の前半と後半の中間に位置し、神様との関係と人との関係を橋渡しする極めて重要な戒めです。

敬うの意味：「敬う」はヘブライ語で「カベド」といい、「重い」「重要な」という意味を持ちます。単なる感情的な敬意ではなく、親の存在を重要視し、価値を認め、名誉を守るといった具体的な行動を伴う概念です。親という存在を「重いもの」として扱うことは、神様を「重いもの」として扱う訓練にもなります。

特別な位置：十戒の前半は「神様を敬う」戒め、後半は「人を敬う」戒めです。第五戒はその境目に置かれ、両方の要素を兼ね備えています。神様は親子関係を「人を敬うことを学ぶ第一歩」として選ばれました。親を敬うことは、社会全体の人間関係における敬意の土台となり、最終的に神様を敬うことへとつながる重要な学習プロセスです。

イスラエルの背景：この戒めが与えられたイスラエルでは、「信仰的な父母」と「血縁的な父母」が一致していました。親は神様の言葉を子供に教え、神様の祝福を継承させる責任を負っていたのです。

現代の課題：現代では、この戒めを一般的な道德論として理解すると困難が生じます。「恩があるから敬え」という人間の基準では、親への感謝の気持ちは人それぞれ異なり、戒めの本質が見えなくなります。しかし、これは神様からの命令であり、親の資質に関係なく適用される普遍的な義務です。

神様を敬うこと：イエス様は「父母を敬う戒め」を人間の伝統より優先されました(マタイ 15:4-6)。ローマ 13 章の原理から、親の権威も神様によって建てられた権威の一つです。申命記 6 章では、親に神様の愛を子供に伝える責任が託されています。つまり、「両親を敬うこと」は「神様を敬うこと」と同じなのです。

恵みの約束：この戒めは私たちを裁くためではなく、癒しと回復に導くために与えられました。神様は確かなご計画の中で私たちに命を与えてくださいました。たとえ両親との関係に苦しむことがあっても、神様に祈り求めるなら、仲直りや理解への道を開いてくださいます。神様は深い愛と憐れみをもって私たちを導かれる方です。「敬う」ことは、相手の存在を神様のかたちに造られた尊い存在として認める、積極的で信仰的な姿勢なのです。

城尾淳一